

2021年3月08日

2021年度 社会福祉法人「聖愛会」事業計画

特養南山苑、地域密着型特養、短期入所生活介護、デイサービス南山苑、聖愛会事業所と法人5事業所が全面的な運営開始となり、2020年8月頃から特養、短期入所ともに問い合わせが増え利用につながるが多くなってきました。デイサービス南山苑は、利用者の増加により、2020年7月から利用定員を25名から30名としています。また、空床がちとなっていた地域密着型特養は12月から空床型短期入所の機能も加え利用者の幅が広がりました。結果、12月からは特養、地域ともにほぼ満床で推移し収支も安定してきています。

今年度は、引き続き現在の稼働率を維持していくこと、外国人介護人材の受け入れを進めていき不足する人材確保をし「質の高いサービス」の提供していくことを組織全体で取り組んでいきます。

また、高野町から依頼をいただいている有償福祉車両の新規事業を始めることを検討しています。この事業を通して、高野山内の地域住民の方々への地域貢献を目指していきたいと考えております。

【事業計画】

- 1) 施設利用率を安定させるための様々な取り組みを行う
特養、地域密着型特養の満床を維持し、経営の安定化を図る
特に、高野山在住の方を優先的に入所していただき安心して過ごしていただける環境づくりを目指す。
- 2) 不足する介護人材を確保し、「質の高いサービス」の提供を実現する
外国人介護人材の受け入れを進め、日本で働きやすい職場環境を提供し組織としてサービスの質の向上を進めていく。
- 3) 有償福祉運送の事業を新規事業として始める
要介護者、要支援者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスが確保で

きていない現状があり、実費の範囲内であり営利とは認められない範囲の対価によって個別輸送サービスとして有償福祉運送がある。近年、高野山においても、移動制約者の福祉輸送サービスに対する需要が増え多様化しており高野山内の行き来ができるよう福祉運送での送迎を提供し地域住民の方への地域貢献を目指していきたいと考える。

4) 看取り介護の推進

住み慣れた地域、場所で、その人らしい最期が迎えられるよう、施設での看取り介護に取り組んでいる。2021年度の介護報酬改定でも重きを置かれている点でもあり、当施設としてもさらなる充実を図っていきたい。